経営比較分析表（令和3年度決算）

秋田県地方独立行政法人市立秋田総合病院　秋田総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	27	対象	ド 透 Ｉ 未 訓 ガ	救 臨 災 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
－	28,708	非該当	非該当	７ ： １

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
374	－	22
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
60	－	456
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
374	－	374

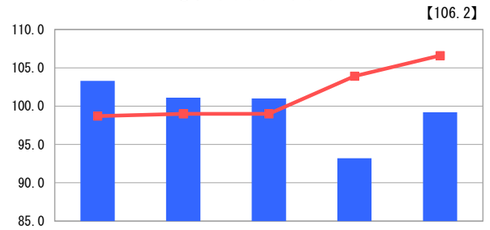
※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

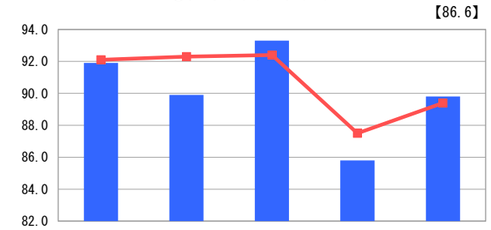
【106.2】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	103.3	101.1	101.0	93.2	99.2
平均値	98.7	99.0	99.0	103.9	106.6

②医業収支比率(%)

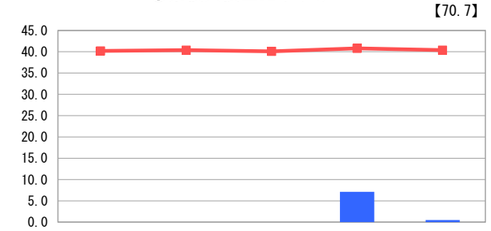
【86.6】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	91.9	89.9	93.3	85.8	89.8
平均値	92.1	92.3	92.4	87.5	89.4

③累積欠損金比率(%)

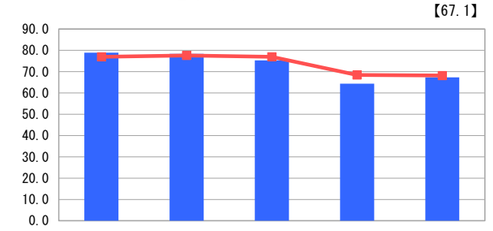
【70.7】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	0.0	0.0	0.0	7.1	0.5
平均値	40.2	40.4	40.1	40.8	40.4

④病床利用率(%)

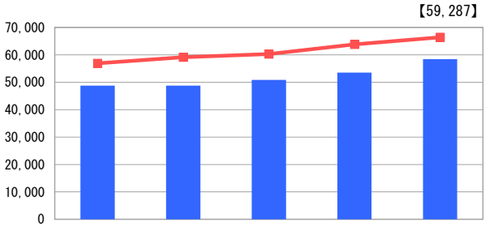
【67.1】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	78.9	78.4	75.3	64.4	67.3
平均値	77.0	77.6	77.0	68.4	68.2

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

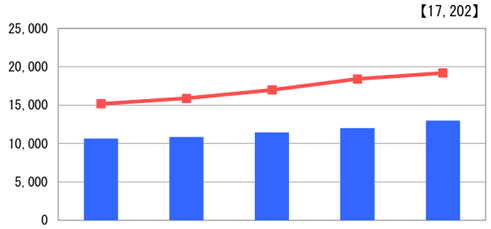
【59,287】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	48,792	48,778	50,851	53,492	58,385
平均値	56,892	59,108	60,271	63,766	66,386

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

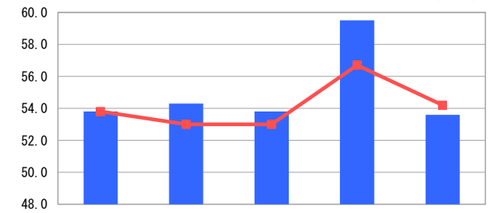
【17,202】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	10,663	10,858	11,443	12,005	12,990
平均値	15,171	15,887	16,979	18,423	19,190

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

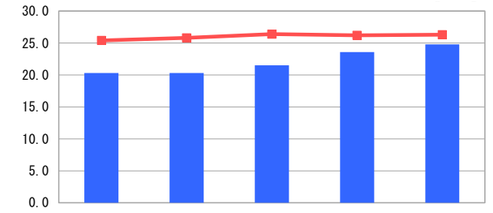
【56.4】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	53.8	54.3	53.8	59.5	53.6
平均値	53.8	53.0	53.0	56.7	54.2

⑧材料費対医業収益比率(%)

【24.8】

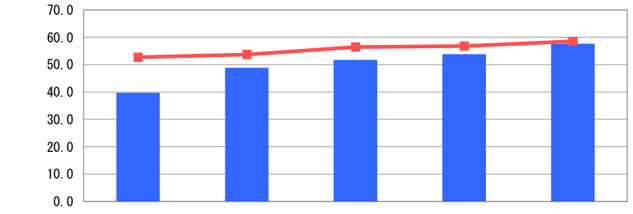


	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	20.3	20.3	21.5	23.6	24.8
平均値	25.4	25.8	26.4	26.2	26.3

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

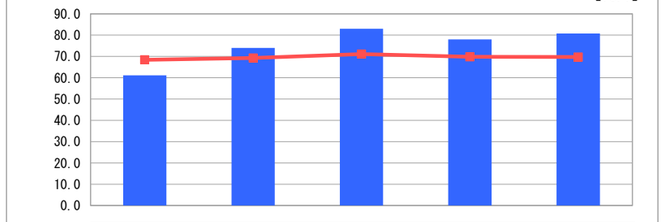
【56.0】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	39.7	48.8	51.7	53.8	57.6
平均値	52.7	53.7	56.4	56.8	58.5

②器械備品減価償却率(%)

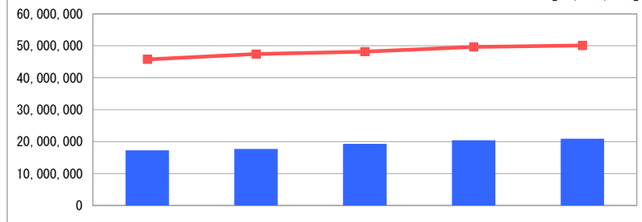
【70.7】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	61.1	74.0	83.0	78.0	80.8
平均値	68.4	69.3	71.1	69.8	69.7

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,765,843】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	17,243,513	17,685,906	19,307,061	20,411,542	20,884,888
平均値	45,729,936	47,442,477	48,164,556	49,637,382	50,098,024

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	平成26 年度	－ 年度

Ⅰ 地域において担っている役割

地方独立行政法人市立秋田総合病院は、公的医療機関として、結核・精神・救急等の政策的な医療やがん診療等の高度な医療を総合的に提供している。
特に、秋田県がん診療連携推進病院として難易度の高い外科的治療等の提供や、救急告示病院として一般救急および小児救急を開設している。また、精神科領域では、秋田県で唯一の基幹型認知症疾患医療センターに指定され、地域の中核的医療機関としての役割を果たしている。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和３年度は、患者数が入院・外来ともに前年度に比べて増加したことなどにより、医業収益は増となったほか、病床利用率も増加している。
医業費用は、給与費や材料費のほか、新病院に向けた設備投資による減価償却費等の増加により、前年度に比べて増となった。
結果として、医業収支比率は前年度よりも改善したものの、経常収支比率は、100%を上回るには至らなかった。
なお、当期未処理損失は地方独立行政法人法第40条第２項における損失の処理を行っている。

2. 老朽化の状況について

病院建物については、竣工から37年が経ち老朽化が進行しており、有形固定資産減価償却率が増加傾向にある。
病院建物の老朽化や狭隘化の解消を図るため、令和元年度に新病院の本体建設工事に着工し、令和４年10月に新病院が開院した。これにあわせ、医療機器の更新を計画的に行っている。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、経常収支比率は、令和２年度から引き続き100%を下回っているものの、前年度より改善しており、安定した財務基盤の確保に努めながら、地域における中核的な公的医療機関として、総合的かつ高度な医療を提供してきているといえる。
今後とも、業務運営の効率化を図りながら、収益の確保と経費の節減に努め、良質な医療を安定的に提供していく。